



森のなかま

2016年2月号
NO.94号 (継続239号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0014 厚木市旭町1丁目8-14・グリーン会館 TEL046-280-4101・FAX046-280-4102

(公財)かながわトラストみどり財団主催 平成27年度『第3回ブラッシュアップ研修会(間伐)』
日時:2015年12月5日 9時~15時 場所:南足柄市 塚原水源林

< 中村 公也 11期 >

講師:(有)小宮造林様 山口氏、甲斐氏、一寸木氏

8:30~9:00 受付 9:00~10:00 バス移動 現地到着後 オリエンテーション 10:00~12:00 間伐実習
12:00~12:30 昼食・休息 12:30~14:00 間伐実習 14:00~14:30 Q&A・閉会 14:30~15:00 バス移動・解散

昨日の強風は止み、これ以上の天気はないという感じの秋?冬?晴れの天気の下、38名の森林インストラクターの精鋭が南足柄市にある塚原水源林に集い、ブラッシュアップ研修(間伐)を受講した。

財団の古館さんの司会でオリエンテーションがあり、続いて講師の紹介。早速、3班に分かれて間伐実習に入った。

私は3班で、一寸木講師の指導の下での状況を記す。

先ず、林業の話から入り、特に間伐の危険性、考え方の話があり、一寸木講師のチェーンソーを使った大木の間伐のデモンストレーションがあり、思い通りの方向への伐倒を見て、流石の思いを感じた。その時の彼の言、伐倒の方向を樹木を後ろにして見ること、伐倒の鋸を入れるときは、安全な山側において、作業をすることを、強調された。



講師の方々

その後、研修終了まで、3組の実習を行ったが、3組とも異なった例になり、よい勉強になった。1例は理想的な伐倒。受け口、追い口、伐倒方向を確認、クサビを打ち、思い通りの方向に伐倒、切り口を見ると、きれいなツル。2例目はクサビを打つも、方向が少しずれ、掛かり木。フェリングレバーでの樹木の方向転換、ツルの形により、結構大変であった。3例目は、やはり、思い通りには行かず、掛木。今回は、滑車利用、ロープで引っ張る方法で伐倒。結構太い木で人力も大変であった。いずれの場合も、安全面では、谷側での作業禁止、伐倒時の周りへの注意喚起、危険区域から離れることを注意された。忘れないように、しよう。

最後に全員集合し、講師の講話があった。心に残るのは、①基本に忠実に作業をしよう。②このような研修では、格好よくやるのではなく、失敗を恐れず、自分の思いを試してみるのも、大切ではないかと言う事であった。今後の研修のカテになるのではないかと感じた。非常に中身の濃い研修であった。

1 例目 理想的な伐倒 スローモーションのようにゆっくり倒れていきました

2 例目 掛かり木
フェリングレバーで方向転換で倒木



実習終了 各自の片づけ



自然観察部会 『第82回森林探訪 シダング山』(水源環境保全・再生市民事業支援)

コース:新松田ーバスー寄バス停ーシダング山ー林道秦野峠ー寄大橋ーバスー新松田

日時: 12月6日(土)、晴れ

<自然観察部会 小林富二男 10期>



オリエンテーション後、班毎の打合せ



寄の峰々に降った雨水の行方を考える



ここからが今日の頑張りどころです

今回はコースも長く、シダング山山頂までの長い登りがあるので、当日の天気を本当に心配しました。スタッフ一同の祈りが通じたようで、穏やかな日差しの中を参加者7班66人とスタッフ 13人は元気に山頂目指してスタートすることが出来ました。

山頂には多少遅れた班もありましたが、全員がほぼ想定時間内に無事到着することが出来ました。丹沢の山々、富士山、江の島などの眺望に、足の疲れも忘れてあちらでもこちらでも歓声が上がりました。

昼食は林道秦野峠です。この頃から雲が出て気温も下がってきました。

各班のリーダーは時間配分を考慮しながら、各々のペースで観察をして終点の寄大橋に向かい、全員元気で定刻に到着しました。

今回のテーマとして、

- ①水源林に降った雨が水道水となるまでの過程を話してほしい。
- ②かつての里山は食料をはじめ日常生活に必要な沢山の資源を持続的に生産してくれる大切な場所だった事を話して、この寄地区でどんな物がどのような利用をされていたのか、参加者と一緒に考えて欲しい。

そんなことをリーダー達にお願いしました。

秋も遅い観察会でしたが、紅葉は思いのほかに見事で参加者を魅了してくれました。色や形の違う落ち葉、色とりどりの小さな果実、工夫を凝らして冬を耐える冬芽、賑やかな小鳥たちなど、晩秋の山々は参加者の皆さんに楽しい一日をプレゼントしてくれました。



虫沢林道にはススキ(茅)が良く似合う



ダンコウバイの冬芽観察



なぜ冬になると落葉するのか



もう終点は近いですよ

参加者: 66名(男性32名、女性34名) 看護師: 小林様

インストラクター: L小林⑩、内野⑨、女川⑨、杉崎⑩、上宮田⑪、松永⑪、赤崎⑫、小池⑫、

稲野辺⑬、小川⑬、長尾⑬、真部⑬、

(写真提供 小林⑩)

森のめぐみ シリーズ

枠組は桜の小枝です

第12回 森林浴で快適な気分を

香りの図書館 館長 谷田貝 光克 氏

緑あふれる林の中を散策するとさわやかな気分になり心はずみずみ。疲れがとれストレスが解消され、明日への活力がみなぎります。そんな経験はありませんか。森林の雰囲気をもつ不思議な力です。機械文明の中で科学の先端技術を駆使した機械にうずもれた現代の生活の中では知らず知らずの間いつかストレスがたまるものです。そんなときには都会の雑踏を離れ静かな雰囲気のある森林に足を踏み入れてみましょう。必ずやリフレッシュすることでしょう。いわゆる森林浴の効果です。

林野庁が昭和57年に森林の雰囲気に触れながら身も心も鍛えようと「森林浴」という言葉をキャッチフレーズに「森林浴構想」を打ち出してからすでに30年以上が経ちました。さらに林野庁は昭和61年には全国の森林浴地100か所を選び、森林浴の森100選を決めています。その後、林内の歩道や休憩所なども整備され、森林浴に出かける人も増え、今や森林浴はその言葉のみならず、森林浴自体も人々の間に普及し、森林浴ブームを引き起こしました。その普及を後押ししたのは「森林浴」という言葉が新鮮であったこともありますが、それにもまして当時の自然志向、健康志向の考え方が浸透してきたためでしょう。遠く古い時代から私たちを見守ってきた自然、恵みを与えてきた自然を再び見直そうという機運が高まってきたからに相違ありません。

さて、森林に足を踏み入れるとなぜか気分が落ち着き、リフレッシュする森林浴効果、それは森林のいくつかの効果が複合的に働いているためです。夏の暑いときなどに森林に入れば涼しくそれだけで気分が落ち着きます。森林が暑い日ざしをさえぎると共に樹木の蒸散作用によって木から水分が蒸発するときに周囲の気温を下げるので林内が涼しくなるからです。冬の寒いときには森林樹木が林内の空気の放熱を抑えてくれます。これは森林の気象緩和作用です。森林の中は静かです。それは騒々しい音を木のたくさんの葉が受けとめたり強い風を防ぐ防音・防風効果によるものです。都会の自動車や雑踏の騒音から離れ

林内の静かな雰囲気に浸るだけで気分が落ち着きます。都会では見られない森林独特の景観や小鳥の鳴き声、花咲く草花なども気分を安らげてくれることでしょう。そして、樹木が放出する木の香りがヒトのからだにやさしく働き癒しをもたらすのです。森林浴効果にはこのように森林の持ついくつかの働きが関係しています。



さて、森林浴がヒトの生理に有効に働くことは近年、研究者によっていろいろの角度から確かめられてきました。例えば、実際に森林内を歩行した場合と森林外を歩行した場合の収縮期血圧を比較すると、森林内の方が低くなることや、ストレスホルモンの血中コルチゾール、ノルアドレナリンが森林内歩行で減少することがわかっています。

森林浴をすることで腫瘍細胞やウイルス感染細胞を抑える役割を果たすナチュラルキラー細胞(NK細胞)が活性化すること、さらに森林浴が交感神経、副交感神経機能を標準のよいバランスにすることなどがわかっています。このように森林内歩行などの森林浴の行動が体に良い影響をもたらすことが明らかにされています。

(イラスト 広報部 大塚 晴子)

主催: 森林癒し部会 『やどりき水源林森林癒し体験研修会』

日時: 12月6日(日) 参加者: 17名(講師含む) 場所: やどりき水源林

< 森林癒し部会 真貝 勝 11期 >

森林は人に木材をもたらす、清らかな水をもたらす、食材をもたらす、そして健康をもたらす。森林の様々な効用の中で健康面に焦点を当て、五感を通して森林を堪能し、健康を維持してもらおうというのが“森林癒し体験”研修の骨子だった。あえて、五感を意識して森林に触れ、右脳に刺激を与え、五感で森を感じることで心身の健康を獲得しようということである。



森林に来るとすっきりするとか気分的な効果は直に感じることができるが、“森林セラピー”では、健康が得られた証拠として、血圧が下がる、リンパ球中のNK細胞^{注)}が活性化されると言われている。このNK細胞の活性は、1か月間ぐらい効果が維持されると言われている。研修では、やどりきの森林環境を癒し体験の場として活用している。

具体的な講習の内容は、午前中にテキストをもとに体験ポイントの説明の後、各ポイントを回りインストラクターが実施する用具の設置等の準備段階から実習が始まった。

午後は班に分かれて野外にて説明員としての実習を行った。説明ポイントは、4箇所。集会棟前(癒やし体験の導入)、延寿の森(樹冠のゆらぎと樹木の香り)、休憩棟前(景観のグラデーションとハーブティー)、タカナシの森(ハンモックと木伝導)である。このポイントで五感に結びついた森林癒し体験を演出する。

参加者の振り返りでは、「ハンモック設置のロープの結び方も学べて良かった。」「山は楽しいということを伝える手段として癒し体験を使いたい。」「同じ場所でも、感じ方が違って来るといったのがわかった。」等の意見が出された。

10数年前の“水源林の集い”で、流水の音を聴く(今回の木伝導)という機会があった。その清らかな音の感じはずっと耳に残り、やどりき水源林に来るたびに思い出していた。

植物の名前が思い出せなくても、植物の姿を忘れないのと同じで、五感により獲得された体験は長く、しかも鮮明に記憶に残る。森林癒し体験はその一助となるだろう。水源林を訪れてくれた人と共に五感を通した感覚を是非共有したいと思う。



注)NK細胞:ナチュラルキラー細胞。リンパ球の1種で、自然免疫力の向上と関連している細胞。

活動短信

今回の掲載は平成27年11/1～11/25です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



楓蔦黄 11/2～11/6 頃
もみじつたきばむ
紅葉や蔦が黄葉する
第五十四候 霜降 未侯



虹蔵不見 11/22～11/26 頃
にじかくれいえてみえず
虹を見かけなくなる
第五十八候 小雪 初侯

(以下 日 平成27年は省略しています)

◆ 街頭キャンペーン川崎 (かわさき市民祭り会場)

日 11月1日(日)～2日～3日(火・祭)、晴れ、雨、晴れ

場 川崎市川崎区川崎競輪場・西スタンド2F

参 延べ776名

財 11/1・3 初山様、11/2 佐々木様

イ 11/1:L森本⑤、落合③、島岡③、足立④、永野⑥、
武本⑦、渡部⑦、齋藤⑧、中島⑨、青木⑩、海野⑩、
大塚⑪、中村⑪、福島⑪、澤村⑫、溝田⑬の16名

11/2:L足立④、高橋③、渡辺(孝)③、鈴木⑤、
小野⑦、渡部(公)⑦、中島⑨、青木⑩、大澤⑩、
松本⑪、江頭⑬、星野⑬の12名

11/3:L森本⑤、高橋③、足立④、安部⑤、鈴木⑤、
武本⑦、青木⑩、海野⑩、大澤⑩、小笠原⑩、
福島⑪、松本⑪、山崎⑫、宇田川⑬、大原⑬、
真部⑬、溝田⑬の17名 延べ45名

かわさき市民祭り(来場者規模50万人)での水源の森林づくり街頭キャンペーン。屋内出店で天候リスクはなかったものの、平日が一日入るなど日並びが悪く、例年に比べ来場者は少なかった。

新たな取り組みとして、丸太切り用の小径木を「ロータリー丸太(製材済みの白木)」に変更した。径も10cmに指定することが出来たため、上に飾るどんぐりとのバランスも取れていたようだ。今後の改善事項としてコースターのバリ取り(ささくれ予防の面取りなど)を工夫していく。

(記 森本 正信 5期)

◆ 県民参加の森林づくり (間伐)

日 11月1日(日)8:30～14:00、晴れ

場 湯河原町鍛冶屋(町有林)

参 80名

財 内海課長、鳥海様 看 青木様

イ L飯澤⑨、柏倉④、佐藤⑤、稲辺⑤、相馬⑤、
加藤⑥、小野⑦、三浦⑧、鈴木⑧、水津⑨、小沢⑨、
小笠原⑩、大澤⑩、吉田⑪、山崎⑫、石川⑫

研修:藤代⑬、斉藤⑬、武井⑬、宇田川⑬

8:40湯河原駅で受付終了後、5台のバスに乗り現地に出発、白銀林道を作業場所に向かい鍛冶屋地区に到着。トラスト鳥海氏司会でオリエンテーション、現地は日本触媒の森林保全契約地と説明、湯河原町役場の紹介、総括リーダーより指導インストラクターの紹介、班担当のインストラクターの変更、作業実施に際しての注意事項及び、配布プリントの訂正事項を説明、準備体操後、間伐作業道具を受け取り作業現場に移動。35年生の檜は劣勢木でも高さが有り、かかり木を免れない状況で初心者レベルを合わせ、安全第一で作業を実施し、無事に作業を終了しました。また今回は3家族子供連れの参加予約が有り、急病で欠席し2家族の参加が有りました。今後親が責任を持つことを条件に、活動継続の将来を見据えて、受け入れるとトラスト意向の為、子供に対しての指導、安全確保のあり方もインストラクター内で検討してゆくことになると思います。

(記 山崎 博 12期)

◆ キリンビール株式会社 森林づくり(間伐)

日 11月7日(土)9:00～13:00、晴れ

場 やどりき水源林、キリンビール・パートナー林

参 キリンビール・牧石様他51名、生麦小学校19名

県 西原副主幹、増田様

イ L西出⑫、有坂⑧、阿部⑧、徳岡⑪、澤村⑫、
山崎⑫、藤代⑬、焼尾⑬

(小学生Gr) L柏倉④、渡辺③

インストラクターは朝8時30分に渋沢駅北口集合。キリンビールの皆様は、2台の大型バスに分乗して現場である、やどりき水源林に10時頃に到着。

参加者の構成は、キリンビールの社員が51名とキリンビール横浜工場の近くの生麦小学校の5年生の皆さんが16名、校長先生・引率教諭・保護者の方3名でした。社員のグループ51名は、8班に分かれて急峻な斜面のものともせず、安全を最優先にあらかじめ選木された樹木を伐る作業を行いました。鋸を引き、枝掛かりする樹木を力を合わせてロープで引き、合計11本倒しました。

小学5年生のグループは、2班に別れて、各班1本ず

つの間伐体験をしました。ロープで引き倒し、樹木が地響きをたてて倒れる瞬間、子供たちから拍手と歓声が湧き起こりました。倒した後の木を2メートルの長さに揃える玉切りという作業が大変でしたが、皆で交代しながら力を合わせて、やり遂げました。

その後、鋸などの道具を整備して、閉会式を行い13時過ぎに参加者の皆様はバスに乗り込み帰路に就きました。

(記 藤代 光洋 13期)

◆ タカナシ乳業株式会社 パートナー林活動

日 11月7日(土)9:00~13:00、晴れ

場 やどりき水源林

参 社員家族大人8名

県 増田様、前原様

イ L宮下⑩、草野⑧、時田⑩

早朝は小雨模様であったが何と水源林の森は晴れ、澄んだ空気の中で紅葉のグラデーションを楽しむことが出来ました。参加者の皆様も朝から「気分は森」との事で予定より30分以上前に到着して下さり、早目に開始し、ゆったりと森の癒しを味わって頂きました。

タカナシの森では木の枝等を整理しアニマルヘッジ(動物除け垣)を作る等、林内整備を行いました。太めの枝で小川のせせらぎを聞く木伝導体験、コロコロツと耳に伝わる爽やかな水の音にも満足して頂け、苔の生えた石のテーブルではローズとカシスのハーブティーで一休み。

水源林のBコースの森では好みの樹に抱き付いて、無機質ではない自然の命を実感して頂きました。呼吸法や樹林気功、巨木の森ではマットに寝転がり樹冠のゆらぎや森の樹木に包まれている様な体験。五感を十分に稼働させて森の癒しを体感して頂き、最後に輪になって手を繋ぎサークルコミュニケーション。

自然との一体感や人の心も繋がりました。事故もなく大変喜んでいただき充実した一日となりました。

(記 時田 愉季子 10期)

◆ 株式会社ゲームオン

ArcheAgeの森 森林づくり ボランティア体験

日 11月7日(土)11:00~13:00、晴れ

場 南足柄市塚原ボランティアフィールド

参 大人26名(男性17名 女性9名)

池田マネージャー他スタッフ、メディアも含み。)

県 鈴木様

イ L村井⑨、友谷①、齋藤⑥、小沢⑨、辻村⑨、

上田⑩、山下⑪、斉藤⑬、武井⑬、古舘⑬、宇田川⑬



心地良い秋の気候の中、新規森林再生パートナー企業、株式会社ゲームオン様の除幕式が行われました。

日頃木や森を育て、その材で家や船を造るオンラインゲームを楽しんでいるお客様に、パソコンを離れリアルな森の整備を体験いただく企画です。お客様は若手が多く、県内はもちろん、遠く姫路から参加された方もおりましたが、皆様積極的にイベントを楽しむ意欲が高く、大変フレンドリーで活気に溢れた雰囲気での進行となりました。

除幕式や記念撮影の後、10班に分かれ14年生ヒノキの間伐を行いました。若木ではあるものの、掛かり木必至の条件でなかなか素直には倒れてくれず、元切りなどで対応しましたが、こうした苦労もリアルならではと、非日常の作業を楽しんでいただけのご様子でした。

間伐材の輪切りコースターをささやかな記念にお持ち帰りいただき、短い時間ではありましたが、リアルな森の整備の面白さ、大切さがみなさまに伝わり、今後も沢山のご参加をいただけることを期待しています。

(記 宇田川 祐美恵 13期)

◆ 横浜市立桜台小学校 林業体験(間伐)

日 11月7日(土)8:45~13:00、晴れ

場 相模原市緑区長竹(長竹承継分収林)

参 73名(少額5年生3クラス)

財 古舘様

イ L内野⑨、佐藤⑤、鈴木⑧、齋藤⑧、三浦⑧、

松山⑩、赤崎⑫、菌田⑬、小川⑬、松石⑬

子供達は前日から愛川ふれあいの村に宿泊して活動していたので、多目的ホールで「始まりの会」を行い、バ

スで長竹の間伐林に移動しました。

森林入口で9班に分かれてヘルメットなどの保護具と鋸を配付して準備を整え間伐林に入った。ほぼ予定の10時に各班の配置について、インストラクターが間伐についての説明を行ってから作業を開始しました。子供たちは、朝一番は昨夜の寝不足か少し元気のない様に見えましたが、外に出て秋晴れの気持ち良い空気を吸って目が覚めた様で、鋸を腰に付け、ヘルメットを被ると、きりりと引き締まった表情になっていて、作業前の説明を聞く時は目を輝かせていました。事前学習をしていないとのことでしたが、森林の役割、大切さなどのついてはかなり興味を示していて、真剣に話に聞き入っている様に見えました。

作業開始から約40～50分で各班とも一本を倒し終わり、枝落とし、コースター切りを行いました。受け口切り、追い口切り、ロープでの引き倒し、全ての作業が子供達にとっては初体験であり、最初は鋸を引くのに苦労していましたが、コースターを切る頃には大分慣れて、楽しんで出来るくらいに上達していました。その後、ほぼ予定時間通りに昼食、現地撤収、終わりに会、鋸の手入れなどを終わり、13時にはバスでの移動になりました。

昼食時にザックを20～30m転がしてしまった子供がいましたが、他に大きなトラブル、ケガもなく無事終了しました。晴天にも恵まれたので、楽しい体験になって、子供達が自然に触れる良いきっかけになってくれればと思います。

(記 松石 藤夫 13期)

◆ 酒匂川水系保全評議会 紅葉の寄水源林散策

日 11月7日(土)9:00～14:00、晴れ

場 やどりき水源林

参 12名(大人11名 子供1名)

スタッフ 小田原市環境保護課様4名

イ L大原⑬、白畑⑦、山崎⑦、杉崎⑩

募集数大人40名のところ参加者12名。各班4名(参加者3名+スタッフ1名)の4班体制。

終日曇り空の予報が、出発と同時に陽が差しだし、集会棟広場のカエデの鮮やかな色付きが目眩しい。

大橋の10月桜を愛でながらAコースに入り、散策路途中で平成24年度成長の森の尾根を台地へと辿る。

暖かな日差しの下で、班別にそれぞれアットホームなラ

ンチタイム。

ここから鍋割山が一望だ。大きな山肌をキャンパスに、深まりゆく秋の絵具を惜しみなく塗りたくっている。仕上がりはベスト！

台地からの帰路、お腹を膨らませ、長々と横たえたお昼寝中(?)の大きな『蝮(マムシ)』に出会い肝を冷やす。私の靴先が彼(彼女?)の鼻面だった。食後で腹が膨らみ、とぐろが巻けなかったのか…助かった！貴重な出会いだ。



マムシ

毎年、酒匂川水系の水質・環境保全活動のフィールドワーク事業を開催している中で、今年は「やどりき水源林」とのこと、インストラクター各位はお得意の「森の案内人」となり、腕を振るい、心を籠めて「おもてなし」をさせてもらいました。参加者から満足の笑顔を得られたのがうれしい。またのご来訪を願いバスを見送る。

(記 杉崎 恒三 10期)

◆ 工藤建設株式会社

フローレンスガーデン感謝祭

日 11月8日(日)、小雨

場 工藤建設株式会社 本社社屋・駐車場

参 約800名

イ L森本⑤、米本②、柏倉④

第9回FG感謝祭に「森の工作コーナー」の運営で出店。当日は生憎の小雨で、予定の約1000名規模から減少はしたものの、お客さま(フローレンスガーデンの戸建てオーナーが主)の笑顔が印象的だった。

チームKUDOの信頼度の証左か。私どもの出店内容は、本立て、ドングリやじろべえと(自然素材と、段ボール素材の)クラフト2種の計4種で、本会も新しいクラフトメニューの開発が急務と思った。

当社勤務の永野さん⑥によると、来年が創業50周年とのこと。この機会を捉えて、神奈川県「森林再生パート

ナー」の仲間入りをしてくれたら嬉しいな・・・と思いました。

(記 森本 正信 5期)

◆ 県民参加の森林づくり活動 (竹林整備)

日 11月11日(水)9:00~13:00、曇り

場 中井町比奈窪 中井中央公園

参 67名

イ L有坂⑧、国分③、佐藤⑤、杉戸⑥富樫⑥、阿部⑧

三浦⑧、鈴木⑧、清水⑧、村井⑨、園田⑨、中本⑩、

渡辺⑫、大原⑬、小川⑬、藺田⑬

中井町 井上氏

財 豊丸様、鳥海様 看 小林様

昨日まで雨だったが、今日は風もなく、寒くも暑くもなく、竹林整備には絶好の日。

5班に分かれ、比奈窪の中井中央公園の竹林整備。1~4班は、元のスギ林に入り込んだ竹(マダケ)の皆伐。5班はマダケの間伐による竹林整備。

現地は、1年前に整備したというが、その後元気よく出てきたタケで振り出しに戻った状態。年1回の活動ではイタチごっこの感もある。

それでも、昼食後の感想では、樹木の間伐と異なり、タケを切り、枝を払って適当な長さの玉切りまでの完結した作業が一人で行えるため満足感が高いといった意見、もう少しやりたかったという意見が多数で出た。

危険性も少なく、参加者の皆さんに充足感があった。

(記 阿部 純一 8期)

ニュースレター「しずくちゃん便り」
ホームページは下記URLで見ることができます。



かながわの水源地環境の
保全・再生をめざして

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html>

◆ 川崎市立宮崎小学校「やどりき水源林を知ろう」

日 11月13日(金)10:00~13:30、曇り時々晴れ

場 やどりき水源林

参 小学5年生5クラス172名、教師9名

イ L小野⑦、井出①、友谷①、渡辺③、宮本④、

白畑⑦、武者⑦、辻村⑨、杉崎⑩、西出⑫、

永松⑫、江頭⑬、大原⑬

9時半過ぎ、学校からのバスが到着。開始式に続いて楽しいストレッチ。

「成長の森コース」「Bコース」「林道コース」に別れてグループごとに写真撮影、自己紹介をして歩き始めた。

テーマは

●森林の役割や仕組み ●水と森林のつながり

●森林を守る人々の取り組み ●森林の動植物。

ポイントポイントで立ち止まり、準備した資料を使いながら学習をした。

森林の役割等についてはみんなが学校で勉強したことを次々に答えてくれて盛り上がった。

昼食もグループごとで、紅葉を眺め、川の流れの音を聞きながら。話題はもっぱら歩いた道中のこと。

「1回目の橋は怖かったけど2回目は大丈夫だったよ」「シカのフンはチョコレートみたい」「シカに出会いたかったなー」等々。

12時50分までに全グループが広場に集合し、修了式の後バスを見送った。少し寒いくらいの気候ではあったが水源林をしっかりと歩いての野外学習は充実したものになったと思う。

(記 江頭 淑子 13期)

◆ 株式会社富士通ソリューションズ(FMCS)

秋季森林保全活動 (間伐)

日 11月13日(金)10:30~14:00、曇り

場 南足柄市 塚原ボランティアフィールド

「富士通・神奈川グループ はじまりの森」

参 16名

イ L小沢⑨、山崎⑦、齋藤⑧、柴⑩

気温12度と肌寒い中、現地には9時過ぎに到着。事前の打ち合わせでは、今回の対象木は15年生で直径10cm前後のヒノキ。必ずロープを掛け、安全に作業を進めることが確認されました。

富士通MCSの皆さんは午前10時半に到着。あいさつ、準備体操の後、11期の柴さんがお手製の立木模型で間伐手順のレクチャー。初めて間伐作業を行なう方が多い中、イメージを掴むには最適なものでした。

最初は、ロープ掛けやのこぎりの扱い方に苦勞し、参加者お互いで確認しながらの作業でしたが、昼食後は作業にも慣れ、スムーズに伐倒作業が出来るようになりました。残った時間をお土産用の杖やコースターづくりに取り組み、作業は無事終了。

終わりの会では、参加者より「楽しかった。また来たい。」「来年の5月には、100人規模の新人を連れてきま

す。そのときには宜しく願います。」との感想が聞かれました。最後にリーダーの小沢さんより「今回の活動をきっかけとして事務局の掛札さん(14期生)に続く方が現れることを期待します。」とまとめがされ、活動を終了しました。

(記 齋藤 彰秀 8期)

◆ 神奈川県ヨタ自動車株式会社

第32回プリウス森木会

森のクリーンアップとクリスマスリース作り

日 11月14日(土)10時～15時、曇り後雨
11月15日(日)10時～16時、曇り後晴れ

場 やどりき水源林

スタッフ 神奈川県ヨタ 島田部長、黒澤室長、
佐藤様、寺嶋様、安田様 他6名

参 14日 30名(男性12名、女性11名 子供7名)
15日 27名(男性10名、女性11名 子供6名)

県 14日 星様、15日 武田様 看 荻原様

イ L 福島⑩、森本⑤、武者⑦、草野⑧、内野⑨
宮下⑩、大塚⑩、山下⑩、吉田⑩

天気予報は土日ともに雨。イベントは晴と雨との両方を準備万端用意して。参加者はトヨタプリウスのオーナーさま。予定では58名ずつだが天気次第で増減はある。

第1日目14日 朝は幸いにも曇天で雨はなし。午後からは雨が確実の予報。午前中はクリーンアップを予定通りに行く。ヘルメットにノコ。ツルハシやスコップ、熊手や箒など一杯の道具を各自手持ちしてプリウスの森へ。力の有りそうな大人の男子は杭打ち班と柵用の間伐材集めの班に。残りのメンバーは、間伐した杉の枯れ枝を集め適当な長さにノコで切断。お子様もいっぱい居てノコは初めて触るとのこと。皆直ぐに覚えて器用にノコを使って枝を切っている。道路の方から枝葉を集める集積所を作っている杭打ちの音が響いてくる。枝葉を運んで柵の中に積む。ベンチのある場所が綺麗になった。道路も落ち葉を掃いて歩き易く。

昼食時に雨が本降りに。午後は傘を差して森林浴と癒し体験を兼ねた散策。雨の林は緑が濃くて清々しい気が満ちている。一方のリース作りはテントの下で各自好みの飾りを付けながら。カラフルでゴージャスなリースが完成。雨のため予定を早めて解散とした。

第2日目15日 午前中は雨の予報だったが幸いに曇り。森のなかまは霧が立ち込めて幻想的な景色。コンクリー

トの道に積もっている落葉樹の葉も集める。雨の後なので落ち葉が濡れていて結構重い。今日はこの寒さにかかわらずヤマビルが一匹姿を見せてくれた。皆興味深げに初めて見るヤマビルを観察した。落ち葉も順調に集めて集積所に積み上げた。お父さんの力作の柵の前で家族写真。リースも素敵な飾りを上手に作る。杉の葉が足りなくなり昼食休みに追加に集めるほど。

2日ともヒヤリ・ハットもなしで雨模様の中無事に活動を終了した。

今後の課題としては、森のクリーンアップは、落ち葉をどう残し、何処を(綺麗に)履かかなど、森の中での方法論を皆で議論し、明確にする必要を感じた。

(記 吉田 郁夫 11期)

◆ 川崎市里山ボランティア育成講座 第5回

日 11月14日(土)9:30～14:00、曇りのち雨

場 川崎市麻生区岡上梨子ノ木緑地保全地区、麻生市民館岡上分館

参 24名

スタッフ 川崎市公園緑地協会 野牛様、他1名
人材バンク4名、講師1名

イ L 門澤⑫、山崎⑫、溝田⑬、

9:20麻生市民館で受付終了後、オリエンテーションの後、天気予報は午後から雨なので、午前中講義から雨の降り出す前に間伐作業へ、スケジュールを変更、班毎に間伐作業道具を受け取り徒歩で岡上梨子ノ木緑地保全地区に出発。現地は15年前コナラ、クヌギを植樹、生育状況に斑が出始める共に密生した緑地、ストレッチ後、作業を開始。きのこのホダ木とするため太さ10センチ～20センチ選木、後の作業性を考えて1mに揃え玉切りする様指示後、間伐作業を安全第一に開始、樹高7m～9mを15本程間伐し枝払い運搬、整頓して無事に終了しました。年配の方も居られ、頑張り過ぎて息を切らせていました。次回里山講座でしいたけの駒打ち作業で使用します。案の定、途中で雨が降り始め、市民館に戻って工具の手入れを行うことにして現場を引き上げました。午後からは神奈川県横浜川崎農政事務所 大木伸一講師から農政の立場から神奈川の林業を横浜市民の森を例題としてどのように関わっているかについて講義を受けました。

(記 山崎 博 12期)



◆ 横浜トヨペット労働組合

「そよ風の森」間伐体験

日 11月17日(火)10:00~12:30、晴れ

場 やどりき水源林

参 大人14名 子供1名

スタッフ 佐藤様

イ L小笠原⑩、渡辺③、小野⑦、小沢⑨

全参加者のうち間伐作業への参加は12名(内女性5人)と小人数の為各班4名の編成にてBコース径路上1班、下2班にて配置当日は道路混雑で到着が遅れた為実作業時間が30分ほど少なくなったが皆さん元気一杯厳しい条件(大径木・急傾斜地)にもひるまず予定時間を少々超過するも伐倒・枝打ち・玉切りと予定の作業を済ませたのち、用具の清掃後帰路に着いた。幼児と母親は作業には参加しなかったが女性5名は男性もたじたとなる作業ぶりで、我々も敬服した次第である。大径木で高木の為倒れた瞬間の迫力には全員から拍手が出た。事故もなく終了したことは何よりで多分参加者も大いに達成感を味わえた事と思う。

(記 小野 幸広 7期)

◆ 県民参加の森林づくり (枝打ち作業)

日 11月22日(日)8:30~15:30、曇り

場 南足柄市 塚原水源林

参 54名

財 内海課長 鳥海様、古舘様 看 小林様

スタッフ 南足柄市森林組合 井上様

イ L宮下⑩、大道⑥、内野⑨、辻村⑨、村井⑨、後藤⑩、佐藤(義)⑪、徳岡⑪、山下⑪、吉田⑪、渡部(朋)⑫、宇田川⑬、内田⑬、北村⑬、武井⑬、古舘⑬

少々雨が心配な空模様であったが、枝打ち作業には支障がない天候であった。小田急線開成駅に参加者の皆様が集合。班ごとにバスに乗りして頂き、作業現場である塚原水源林に向かった。

オリエンテーションでは、全体のスケジュール、枝打ち

作業の意義、作業の手順、事故防止と安全作業などを説明。中でも、目を保護するため「ゴーグルの着用」を強調。ストレッチ体操後、装備をつけ作業地にいざ出発。現地は14年生のヒノキ林であった。

2時間ほどの枝打ち作業であったが、参加者皆様の精力的な作業により、多くの枝打ちが出来ました。おかげで、林内の見通しがよくなり、明るい林況となりました。怪我もなく作業を進めることが出来、参加者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいでありました。

昼食後は、開成町民センターに移動。「NPO 法人足柄丹沢の郷ネットワーク」、「湘南の森」、「やどりき水源林づくり21」の皆様の活動事例を聞いたり、意見交換を行うなどボランティア交流会に参加し、有意義な体験となりました。

(記 宮下 修一 10期)

◆ 神奈川県協同組合連絡会

「共同組合体験・交流学校」

日 11月22日(日)10:00~14:00、曇り

場 県立21世紀の森

内山林道の一部や園内散策路を観察。

参 17名 組合連合会様スタッフ3名

イ L増子③、杉崎⑩

21世紀の森園内を散策しながら自然の偉大さやその恩恵を肌で感じ、環境保護の大切さを学ぼうと、参加者17名(大人11名、子供6名)和やかな活動でした。

天然の森を駆け下る錦秋の帯。

みんな！今日の素晴らしい日を楽しもう！

手袋をとろう！尻込みしないで、手を出そう！

園内を縦横に駆け巡るケモノ道。無尽に堀散らかした土木工事跡や鮮やかな足跡。木の実の無数の食痕。

子供たちの目が、だんだん輝いてきた。

なぜ森へくると楽しくなるのだろう？ 昔は電気やガスはなかった。森は日常生活の場所だった。

木々の色付きが増し、活動期が過ぎてしまい虫たちの生き物には会えなかったが、折々に触れる植物を五感で味わいながら2時間弱の観察会でした。

昼食後は、マイ箸作りの工作を楽しみ作品のお土産を手にはバスの中へ。

(記 杉崎 恒三 10期)

◆ 横浜市立平沼小学校 間伐体験

- 日 11月25日(水)10:00~15:00、雨
- 場 愛川ふれあいの村
- 参 小学5年生93名、教職員9名
- 財 古館様
- イ L松山⑩、渡辺③、斎藤⑥、渡部⑦、斎藤⑧、鈴木⑧、松本⑪、西出⑫、菌田⑬、小川⑬、

『森林学習や森林作り体験活動の一環』としての長竹継承分収林での間伐体験が、雨天のため中止。午前中は、愛川ふれあいの村で、「木の柄を使ったスプーンづくり」の予定のところを、財団：古館様の臨機応変のご配慮により、急遽「丸太切り」に変更。鋸を使うのが不慣れな子供たちも、コースターづくりに挑戦、完成するころには上手く挽けるようになった。お蔭で、コースターづくりは大好評。午後は小雨の中、「木」スコアオリエンテーリング。子供たちは班ごとに、元気よくスタートしてポイントを駆け巡る。インストはチェックポイントに立って、樹木の特徴などを解説した。14時30分全班ゴールイン。その後“おわりの会”を以って無事終了。

(記 松山 隆治 10期)



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にされずベタ書きで結構です。

◆ 活動団体・活動名 等

- 日 日付 (できれば時間と天気も)
- 場 場所
- 参 参加者&人数
- 県 神奈川県 環境農政局 水・緑部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
- 財 ((公財)かながわトラストみどり財団)、 看護師
- スタッフ 例 小田原市森林組合XX様
例 川崎市公園緑地協会・XX様
- イ インストラクター (○数字：期) 研修枠
(以下本文を概ね400字を目安として執筆ください)
リーダーは責任を持って執筆者の選択をお願いします。
活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。



神奈川県自然環境保全センター 研究報告会
ブナ林の再生に向けて
～衰退原因の解明と再生技術の開発～

自然環境保全センターでは丹沢山地のブナ林衰退の原因解明とともに、ブナハバチ対策や森林再生技術の開発に取り組んでいます。報告会ではこれらの研究成果について報告します。

- プログラム (予定)
- 「ブナ林衰退の原因解明に向けて」 (自然環境保全センター)
 - 「ブナの水分ストレス診断」 (京都府立大学上田正文准教授)
 - 「衰退リスクから見たブナ林の再生優先地マップの作成」 (酪農学園大学鈴木透准教授)
 - 「ブナ林再生のための技術開発」 (自然環境保全センター)
 - 「自然再生事業の実施状況」 (自然環境保全センター)
 - 「学識者によるコメント」 (生命の星・地球博物館 勝山輝男学芸部長)

日時 平成28年2月20日(土) 13:30~16:00
会場 厚木商工会議所501号大会議室
(厚木市栄町1-16-15) ※地図参照
定員 160名 (要事前申込)
参加費 無料
主催 自然環境保全センター

○申込方法:受付は平成28年1月4日(月)から開始し、定員に達し次第終了します。
・FAXによるお申込み:行事名「研究報告会」・所属(団体名)・氏名・電話番号を明記の上、FAX(046-247-7545)までお申込みください。
・ホームページによるお申込み:自然環境保全センターホームページ (<http://www.pref.kanagawa.jp/div/1644/>) の下段にある「自然環境保全センターへの問い合わせフォーム」に氏名・メールアドレスを入力していただき、お問い合わせ内容の欄に行事名「研究報告会」・所属(団体名)を入力してお申込みください。
※受付完了の返信はしませんので予めご了承ください。
○問合せ先:自然環境保全センター研究連携課 電話 046-248-0321 (研究連携課代表)

やどりき水源林 ミニガイド

1月のトピックス

1月17日(日)に恒例の山の神祭が行われました。(詳細は3月号に掲載)
(祠と奉納品)



(1/17 撮影 広報 松本)

2月の水源林

やどりきは冬の真っ只中。山麓の集落では蛸梅祭り、そして白梅等の梅が咲き始めます。

「森の案内人」情報

(12月、1月、2月は休みです)

●実施時間:毎週土曜・日曜・

AM10時・PM1時、1~2時間程度

●集 合:水源林入口ゲート前

●内 容:森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ:(公財)かながわトラスト

みどり財団 TEL:045-412-2255

FAX:045-412-2300

●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>

●E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約25分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩35~40分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

特別企画「やどりきの森へ行こう!!」

要・申込

2016年 **3/20日** (所要時間目安:3時間)
春が来た! ミツマタ & モモンガの棲む森散策

【定員】50人(抽選)

【申込締切】3月3日(木)

【集合】小田急線 新松田駅北口に

午前8時30分

※新松田駅~やどりき水源林ゲート間は路線バス

延長利用(片道:620円各自負担)

【内容については】財団ウェブサイトへ

【申込】NPO法人 かながわ森林インストラクターの会

〒243-0014 厚木市旭町1-8-14 グリーン会館4階

☎ k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

●希望するイベント日時、参加者全員の氏名、住所、電話番号を明記して往復はがきまたはEメールにてお申し込みください。



名物! 春を告げるミツマタの群生などを見ながら、森林浴でリフレッシュ!
ムササビやモモンガに逢えるといいな♪

ムササビのお昼寝

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) [http://www.forest-](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

[kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

(HP担当:井出恒夫)

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871 小田原市下堀 123

Tel/Fax: 0465-42-7240

Mail: minagold109@kj.biglobe.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治 (事務局長)

〒214-0006

川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受付けています。

編集後記

★我が家の猫がやっとコタツに来てくれるようになりました。

そろそろ家猫修行も卒業かな。

(赤崎)

★ベランダで育てている椿の蕾の中身がすっかりなくなっていました。とても楽しみ にしていたのにショックです。7個も誰が食べてしまったのでしょうか・・・。

(小川)

★「今年の冬は暖冬の予想でしたが、ここ数日は日本中が冷凍庫に入った様な寒さです。元気に乗り切りたいものです。」

(藪田)

★やっとならしい寒さと思いきや、これが大寒波とは今年は花粉が多いとかで、早速薬を買いました。

(水口)

★初日の出は江の島に写真を撮りに行ってきました。300円を奮発して小田急の臨時特別号に乗って。去年は吾妻山、一昨年は江の島です。年々若い人が多くなっています。

(松本)

◇ 年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保

広報部: 水口俊則 大塚晴子

赤崎さほり 小池 哉

小川和恵 藪田栄哉

支援 伊藤恭造 大原正志

江頭淑子

甘さ香るロウバイの回廊

松田町寄ロウバイまつり

平成28年 1月16日(土) ~ 2月21日(日)

開園時間 午前9時~午後4時 開園内無休

会場 松田町寄ロウバイ園

入園料 大人(16歳以上) 300円
団体割引(20名以上) 200円

お問い合せ先 松田町観光経済課 TEL:0465-83-1228
URL: <https://town.matsuda.kanagawa.jp/>

駐車場 無料

プレゼント 参加された方全員 ロウバイまつり限定記念グッズプレゼント!